

20芸西第3, 389号

平成20年10月10日

国土交通省 道路局長 様

芸西村長 井上



今後の道路行政についての意見・提案の提出について(回答)

うえのことについて、別紙のとおり回答します。

今後の道路行政についての意見・提案

① 道路行政全般について改善すべき点、要望や提案など

道路は、地域の民生を支える必要最低限の社会基盤であると共に、国家としての一体感の保持機能を担っているのと、地方文化に關与し經濟を興すなど、地域と共に長い歳月を掛け整えられて来たが、これからも絶える事なく整備は必要である。

近年、少子・高齢化が進む中、定住自立圏構想が出されるなど地方の活力を高める取り組みが求められているが、地方の經濟活動や緊急時に大きな影響を与える交通途絶を払拭し、国民に公平で安心・安全な日常生活を保障する道路など国土の基盤整備は国の重要な責務であり、豊かな国家形成のために必用不可欠な行為である。

そのため高規格道路や一般国道、県道、市町村道がそれぞれ連携した幹線道路網の構築は、工期短縮と経費節減が、また緊急時の迂回路としての機能が望めるのと、地方と都市部との時間距離も短縮されることから、働く場の少ない地方では、産業や観光などの振興を図る上において、この様な連携は有効であり、地域格差是正のためにも重要な役割を担っていることから、早期に対処すべき喫緊の課題と考える。

また、地方では、山間地で独居高齢者が多く住んでいること、都市部と違い公共交通機関が極端に少ないことなど、日常生活では止むを得ず自動車に頼らざるを得ない事情があるため、常に安心・安全に走行できる、生きるに必要な最低限の道路整備が求められている中、地方の自治体は、維持管理費等道路整備の財源確保に苦慮している。

今日まで道路整備の重要な財源であった道路特定財源は、都市部の論理によって一般財源化されると共に、道路の中期計画は5年に短縮され、財源は一般予算の中で埋没し、都市部優先の政策に戻ることから、地方が期待していた道路整備は、従前と同様先送りされ、四国8の字ルートなどは幻の計画に終わる懸念が高い。

近年になって、漸く地方にも高規格道路の槌音が響き出したとき、道路特定財源の利用目的の変更は、地方切り捨ての対応であることから、人口の多い地域を優先する計画とならない様に、真に必要な道路整備は、遅れている地域や偏在性を考慮して優先的に、計画的に行なうとの定義を改めて明確にされること、そして地方道路臨時交付金制度の継続並びに地方道路の維持管理費等整備に必要とする財源の拡充を提言する。

今後の道路行政についての意見・提案

②-1 地域の現状と抱える課題

様式②

高知県芸西村

○現状

高知県は海岸に沿って長く、山間地等僻地が多いのと、定住人口の減少に伴い公共交通機関の廃止等が進行し、交通手段を自家用車に頼らざるを得ない事情がある。

県下の幹線道路は、一般国道55号、56号、32号が主要道路であるが、災害時等に安全で途絶しない迂回路は極めて少なく慢性的な交通渋滞や地形的な屈曲等の要因から、通行規制等已む無しの状況下では、現道での高速化は望めない。

また、集中豪雨や台風等異常気象時には、国道の冠水や越波等で交通途絶が頻繁に生じるなど、地域の経済活動や緊急輸送等日常生活にも支障を来している。

今後、東南海地震が起きれば、海岸線に沿った本県の国道は、津波等で寸断され沿海部の街や集落は壊滅的な被害を受けるのと、陸の孤島と化す恐れがある。

この様な中、高知県沿岸地域は、温暖な気候に恵まれ施設園芸農業や漁業が盛んなため、都市部への生鮮食品の重要な供給地であり、多様なレジャー施設や自然環境、歴史的な遺産など観光資源も豊富な地域でもある。

○課題

県西部地区では、高速道路網が順次整備されているが、東部地域は、高規格道路の工事区間が芸西西インターまで延伸しているが、更に計画区間を延ばし、徳島阿南地域を含めた阿南・安芸自動車道への早期接続が望まれている。

また、世界的な金融不安と原油高騰が、価格低迷に喘ぐ一次産業の経営に追い討ちを掛けているのと、国際競争や輸送コスト削減問題等が絡み、産地間競争にさらされているため、生鮮産品の低価格での高速輸送化は喫緊の死活問題である。

観光面では、高速道路や高規格道路の共用を見越した取り組みの一環として、恵まれた資源であるリゾートホテルやゴルフ場等各種レジャー施設等と連携し、県外人口を視野に広域的な交流人口の拡大を図ることが急務であるのと、土佐の海道が遍路道として世界遺産を望んでいる時期、路肩の狭い交通量の多い箇所には、地域住民から歩道の設置が求められている。

これ等課題に対応するには、道路特定財源を一般財源化することなく、道路整備の遅れている地域の活力を促すため、財源は適法にして適正に充当されるべきであるのと、都市部との格差の是正と共に、地方も共存・共栄を図ることが重要課題である。

②-2 地域の現状と抱える課題

高知県芸西村

四国の高規格幹線道路や地域高規格道路を8の字で結び、安全・安心に暮らせるネットワークの整備はもとより、国民・県民から要望の強い高速道路料金の引き下げと、高速道路網の効率的な運用と活用のための措置を講じると共に、利用者の利便性の向上に努める必要がある。

一方、中山間地域の狭小で脆弱な生活道の整備は遅々として進展していないが、比較的短期間で、且つ少ない予算でも整備効果の高い1.5車線的な手法は早期整備に繋がるのと、各集落が懸念している災害時等の孤立化解消に少しでも応えられること、都市部との時間距離が短縮され生活圏域の拡大も期待できることから、今後も道路構造令は柔軟に対応されたい。

また、地震・津波・異常気象時の災害を最小限に止めるため、災害時における緊急輸送道路網の整備や橋梁等の道路施設の耐震補強等は継続して推進する必要があるのと、今後、橋梁等道路施設の老朽化が増加するのに備えて、道路網の安全性や耐久性が確保される様、適性で効率的な道路施設の修繕・管理等を行なう必要がある。

これ等対策と並行して、地方が期待する道路の中期計画を適正に、且つ着実に推進するため、道路特定財源は受益者負担の原則に則って対処するのと、順番待ちで遅れている地方の道路整備に対し、優先措置の考えが必要である。

また、真に必要な道路整備と共に、地方道路整備臨時交付金の継続並びに交付金の増額、補助率の嵩上げ等制度の見直しを図るのと、整備の後れている地域への重点支援を強く要望する。

今後の道路行政についての意見・提案

様式④

③ 道路政策の重点事項(代表事例、期待する効果や評価等)

高知県芸西村

○重点事項	○代表事例	○期待する効果や評価等	○その他
地域活力の向上	観光客の集客増と四国内の経済の発展に期待している。	当村には、四国で唯一のリゾートホテルがあるが、近年、韓国、中国、台湾等からの団体観光客が増えている。ただ、旅行代理店は、四国の道路事情の悪さから、日程上観光コースの設定が難しいとのことで、観光地が限られることから、四国内での旅行の設定をためらう傾向にあるため、現在の道路事情では、観光客の誘致に限界がある。これ等を払拭するには、高速道路の建設以外に対応策がないのが実情である。 また、県外との経済の広域交流も高速道路が在って初めてテーブルに就く前段が整うことから、道路整備の是非に発展を委ねるしか手立ては無い状況にある。	